



三鷹市 星と森と絵本の家

Mitaka Picture Book House in the Astronomical Observatory Forest



所 同施設 ☎0422-39-3401

絵本縁日の出店・出演者募集

絵本縁日は、令和8年3月15日(日)に開催する、絵本を通じたコミュニケーションを楽しむお祭りです。楽しいおはなし会やワークショップなど、絵本にちなんだ自由な企画を募集します。

申8年1月9日(金)までに必要事項(7面参照)・グループ名・参加理由・やりたい企画を同施設 ☑ ehonnoie@city.mitaka.lg.jp、または市HPへ

※出店・出演希望者は8年1月18日(日)・20日(火)午前11時~正午、午後2時~3時に開催する、説明会のいずれかへの出席が必要です。

第13回 回廊ギャラリー展示絵本作品公募

同施設の回廊ギャラリーを飾る絵本の原画を募集します。星や月などの「天体」や、広く「宇宙」をテーマにした自由で個性あふれる作品をお待ちしています。

作品規格

15見開き、または11見開きの絵本。作品サイズは、展示スペース(長さ8メートル、5メートルのL字の回廊)内に収まり、絵本になることを想定したもの。テキストは原画には書き込まず、カラーコピーの該当箇所に直接または別紙に書いて貼るなどしてください(印刷も可)。ジャンルは不問(未発表作品に限る)。

賞

最優秀賞1作、優秀作2作、副賞として原画個展

応募方法

8年3月20日(金)祝(予定)から市HPで応募後、4月1日(水)~15日(水)(消印有効)に作品を〒181-0015大沢2-21-3国立天文台内三鷹市星と森と絵本の家へ

冬季限定の催し

◆星のおはなし

日12月27日(土)午後2時から



◆幼児クラブ 冬の森のたんけん隊

同施設の庭で、自然をたっぷり満喫してみませんか。

日8年1月15・29日、2月12・26日、3月12日の木曜日午前10時30分~11時30分(全5回)

人2歳6カ月以上のお子さんと保護者15組(下の子の同伴可)

申12月30日(火)~8年1月6日(火)に市HPへ(申込多数の場合は初参加の方を優先して抽選)



本の福袋を貸し出します



所 同三鷹図書館(本館) ☎0422-43-9151

どんな本が入っているかは開けてからのお楽しみ。8種類の袋(いずれも3冊1セット)からお選びいただけます。

日 令和8年1月12日(月・祝)まで

※工事のため、臨時カウンターで希望の福袋をご指定ください。



大沢の里古民家体験学習 まゆだま飾り作り



所 生涯学習課 ☎0422-29-9862

かつて大沢地域で行われた「まゆだま」を飾る小正月の風習を体験します。完成した飾りは同施設で展示します。

日 令和8年1月10日(土)午後1時~2時30分 人12人 所 同施設 講 三鷹まると博物館ボランティアの皆さん 料 200円(入館料。中学生以下無料) 物 汚れてもよい服装 申 12月22日(月)午前9時から必要事項(7面参照)を同課 ☎0422-29-9862・✉ shogai@city.mitaka.lg.jpへ(先着制)

第72回 市民文化祭入賞者



所 三鷹市芸術文化協会 ☎0422-45-1283



※敬称略

囲碁大会

有段者Aの部

- ◆文化祭賞 鈴田哲也
- ◆準優勝 永代斗真
- ◆3位 仲田雅一

有段者Bの部

- ◆優勝 野村裕昭
- ◆準優勝 登山翹
- ◆3位 永代隼人

級の部

- ◆優勝 大川正広
- ◆準優勝 永代咲良
- ◆3位 酒井岳史

菊花展

- ◆文化祭賞 吉田光治



撮影: まちカメ 白間摩理

短歌会

- ◆文化祭賞 この春に一瞬触れし店主の手その温もりは逝きても忘れず 櫻庭寛
- ◆特別賞 手をつなぎ白杖(はくじょう)の母と田んぼ道歩きし小春日なつかしむ今日 箕輪恵子
- ◆佳作 羊雲わた飴たこやき山車神輿(だし)みこしこども心がふと甦る 木村香代子
- 一本の枯つる草は恵なり陽に輝けるそのひとときの手にのせる八年余りの歌の束推敲の朱消ゆるることなく 久野静代
- せせらぎに立ちつくす鷺寂しさに震えるように右足を出す 宮本恵美子

ジュニア俳句大会

- ◆大会賞 びっくりだ せみのぬげがら うごいてる じいじのて にぎってつけた はなびかな ひまわりは 地面ではじける 火花だよ 青木美晴(井口小)
- ◆優秀賞 透き通る 風の涼しさ 心太(こころてん) 手と手と手 つないで祈る 終戦日 松尾彩弓(三小)
- きゆうしよく中 ひっしにしゅわで 会話する 野中友善(五小)
- あつすぎて ぐらぐらするな かえりみち 前島一花(一小)
- 波じゃなく 電車で揺られ 夏期講習 小澤一樹(六小)
- 持ち上げて 氷がかなでる 麦茶の香 中島茉莉花(五小)
- 朝顔は 光ほしくて つるのぼす 野中あい(五小)

俳句会

- ◆文化祭賞 選者: 大井恒行、津久井紀代
- ◆山寺や檀家総出の吊し柿 井上昭子
- ◆特選 天高し君骨片(こっぺん)となり地に帰すか 佐藤マリ
- ぶどう買ふ房の重さを掌(てのひら)にはかり 谷口一郎
- 片づかぬ机上のメモや秋あつし 西條訓
- ◆佳作 ガザの子や縋帯(ほつたい)の手で揚げる風 横森茂樹
- かいぼりや楽しげな子等(ごころ)泥だらけ 杉浦洋子
- 写経して心解かれる涼しさよ 金子圭一
- 鶏頭の数のゆかしき子規の庭 深沢矩子
- 海風を包んで閉じる白日傘 齋藤えり子
- 先を行く母は逃げ水抜けてをり 山口明子